

なかま

# 那珂川町郷土史研究会

探訪  
82

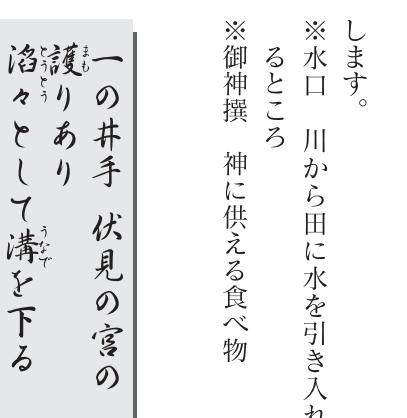
裂田溝の取水口を唐戸からとと言い、水の管理者を唐戸番と呼んでいます。唐戸番は、一の井堰と裂田溝の水管理がまかされ、日常は取水口に水を溜め必要な水位を確保し、洪水時には水門を閉じるなど年間を通して、厳しい管理を行つています。特に田植え時期になると下流域の、農業用水確保のため細や

かに毎日のように見回ります。見回りは10月上旬の稻刈りの時期まで続きます。

かに毎日のように見回ります。見回りは10月上旬の稻刈りの時期まで続きます。



裂田溝水門前で  
「唐戸開き」の神事が  
行われます。



#### 4.汲ん場-イ



国道385号  
裂田溝



#### 伏見神社の宮田



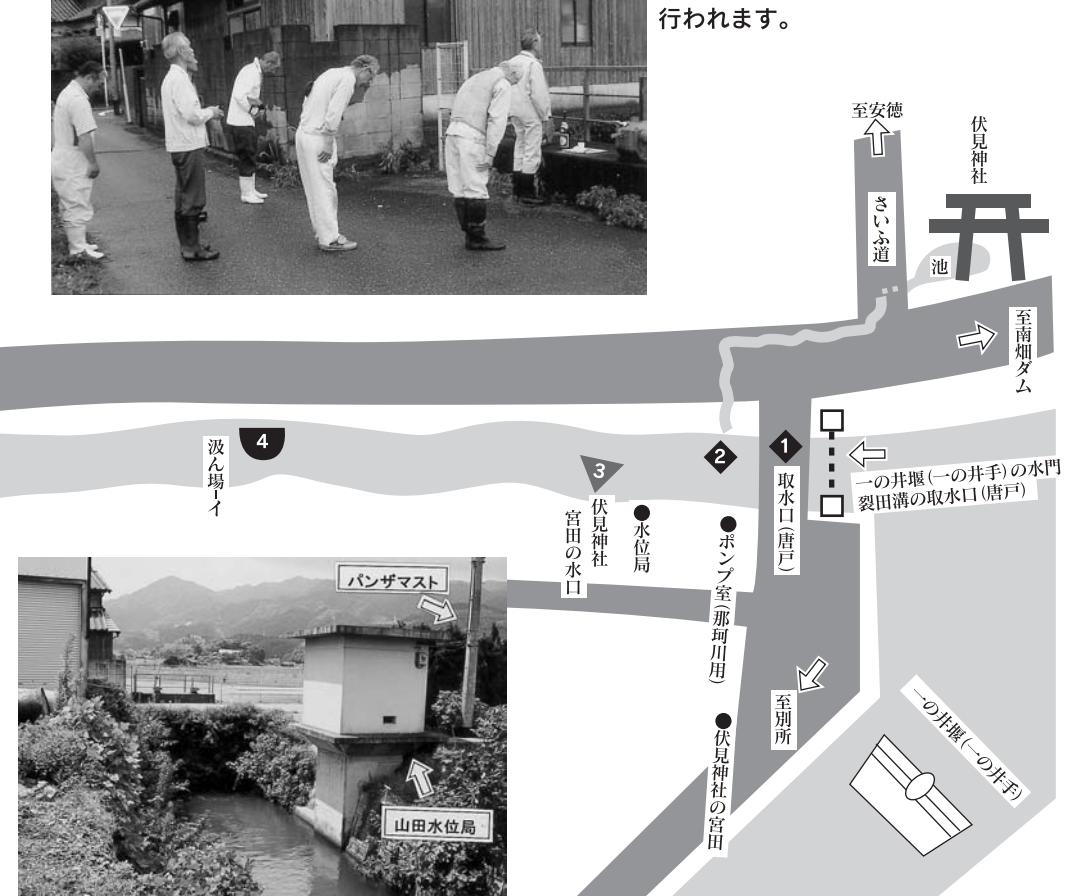
の風景は年に1回裂田溝の清掃のとき、わずか1時間位しかみられません。



ぼうじん  
**防壁フェンス**   
唐戸の水門にゴミが  
集まらないように  
とりつけられています。



#### 伏見神社の宮田



一の井堰の水門・裂田溝取水口（唐戸）からと